



怪異名： <b>座敷童</b>	
属性： <b>律</b>	破滅者／元凶： <b>民間伝承</b>

存在点	初期値	現在値	基本攻撃	<b>【精神】</b> あるいは <b>【肉体】</b>
-----	-----	-----	------	------------------------------

▼ 原型      ▼ 穢れ

	名称	タイミング	対象	回避／禁則
妖怪／怪物	伝承の手順	常時	様々	様々
(『クラヤミクライン』 170 ページ)				
幼／老	老獺	後述	怪異	なし
(『トコヤミメイズ』 145 ページ)				
黄昏	滅びの先触れ	後述	全員	<b>【精神】</b> 代替、アイテム、援護
(『トコヤミメイズ』 127 ページ)				
	名称	タイミング	対象	回避／禁則
.....				
	名称	タイミング	対象	回避／禁則
.....				

設定：

東北地方を中心に物語が広く伝播するこの怪異は、様々な形で「オモテ」の世界に現れる。「実体」や「神」として、あるいは子供に取りつき役割を負わせる「呪」として——しかし、この怪異の本質は「家にいる間は一族が栄え、家から離れば一族は没落する」という「ルール」そのものである。つまり、座敷童は「突然家を異世界と化し、いずれ来る絶対不可避の破滅を押し付ける怪異」と言い換えることができるだろう。

とはいえ民間伝承には、座敷童に長く留まってもらうためのルールが解説されているものも多い。もし、家に見知らぬ子供が上がり込んでいたら、せめて自分の代で禁忌を踏まぬよう、細心の注意を払うしかないのだ。